

道の駅「いとまん」に防災用コンテナ型トイレを配備

道の駅「いとまん」に防災用コンテナ型トイレを配備しました。
この防災用コンテナ型トイレは、災害時には移動して活用ができる水循環式を採用した自己完結型水洗トイレで、県内の災害支援機能の強化を図ります。

令和6年能登半島地震では防災用コンテナ型トイレが、防災道の駅「うきは」（福岡県うきは市）から、被災地にある道の駅「あなみず」（石川県穴水町）に派遣され活用されました。

このたび、能登半島地震において有用性が確認された防災用コンテナ型トイレを、道の駅「いとまん」に配備しました。

■設置場所：道の駅「いとまん」（沖縄県糸満市字西崎 4-19-1）

■防災用コンテナ型トイレの概要：

- ・本トイレは、災害時に被災地に派遣して活用が可能な防災対応型です。
- ・浄化処理システムにより、給水を行えば、上下水道の接続が不要。
また、太陽光発電・蓄電池等の電源機能も有しており、完全自己完結型トイレとして、使用することも可能。

【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局

南部国道事務所

副所長

管理第二課 課長

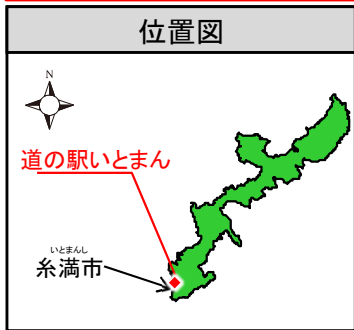
<TEL:098-861-2336(代)>

もりやま まさみ
森山 正三 (内:205)

ひが まさる
比嘉 優 (内:441)

■防災用コンテナ型トイレの特徴

- ・災害時には被災地に運搬して活用が可能な防災対応型。
- ・太陽光発電・バッテリー等の電源機能や雨水タンクも有しており、完全自己完結型トイレとして使用することが可能。
(停電・断水中でも1日あたり250回分の使用が可能)
- ・浄化システムを搭載のため、災害時には上水道・下水道への接続が不要。



- 洋式トイレ：男性1室・女性2室を配備
- 移動方法：ジャッキUP付きで、積み込み機械不要
：10T セルフローダーで運搬可能
- 活用方法：平常時の活用に向けて調整中